

目次

巻頭言

..... 野谷 文昭 1

特別講演

『味の翻訳』

..... 関口 涼子 4

座談会

翻訳をめぐるって

..... 16

進行役

伊藤 達也
梅垣 昌子
関口 涼子
野谷 文昭
ライアン・モリソン

巻頭エッセイ

シルク・ドゥ・ソレイユの『トーテム』と先住民表象 室 淳子 50
ブルーノ・シュルツとの出会い 加藤 有子 54
モディリアアーニ——一枚の自画像が語るもの 林 良児 58

エッセイ

『Saudade サウダーヂ』 後藤 希望 62
ディケンズのメロドラマ 甲斐 清高 64

対談

シヨスタコーヴィチを語る 浅田 彰・亀山 郁夫 66
○基調報告 シヨスタコーヴィチ『森の歌』の謎 亀山 郁夫 77

アルバレス・ブラボの写真に写っているもの	83
テーマ書評 世界をもっと知るために	
「ユーロ危機」を読む	井上 泰夫
難民問題を理解するための五冊	佐藤都喜子
	105 101

コラム

世界 あの店この味	109
味は時空を超える	110
旅と味	117
新しい味を見つける	124
懐かしの味に出会う	131

エッセイ 教師と学生を結ぶ

アテネと名古屋の森の中	ムーディ美穂
重力のない幻想世界―英国ロイヤルバレエ《ロミオとジュリエット》を観る	大岩 昌子
	141 138

書評

『魯迅後期試探』	船越 達志
『留学と日本人』	高橋 直子
『ゴルバチョフに会いに行く』	伊藤 達也
『セルバンテス』	甲斐 清高
『メダリオン』	諫早 勇一
	149 148 147 146 145

執筆者紹介	150
活動記録	151
編集後記	152